

テーマ；生きる力の育成


令和3年度

家庭を中心として、子供の生きる力の育成に努める

○家庭教育の役割、機能の確立を目指すPTA活動

○学校、保護者、地域が一体となり、子供のふるさとに対する意識を高める活動

厚陽小中学校PTA

<p>PTA名称</p>	<p>山陽小野田市立厚陽小中学校PTA</p>	
<p>所在地</p>	<p>山口県山陽小野田市大字郡3491-2</p>	
<p>学校地域の概要・組織</p>	<p>本校は平成29年度から続く併設型小中一貫校で、今年度の児童生徒数は88名、世帯数は59世帯。小・中学校ともに1学年1クラスの小規模校である。</p> <p>学校周辺には美祢市から流れる厚狭川の河口や、そこから広がる周防灘を望める夕日スポットがあり、田畑が広がるのどかな場所となっている。本校の道路を挟んだ目の前には、厚陽保育園がある。</p> <p>厚陽ふるさとづくり協議会、厚陽地域教育協議会と連携し、地域行事（市民運動会・夏祭り・どんど焼き・地区防災訓練等）へ、児童生徒をはじめとして、PTA役員・会員や教職員も積極的に参加している。</p>	
<p>研究テーマ</p>	<p>家庭教育の役割、機能の確立を目指すPTA活動</p> <p>昨年度組織した「厚陽PTA家庭教育支援チーム」に児童生徒を参加させることで、保護者の家庭教育に対する意識を高めるよう努めた。</p> <p>学校、保護者、地域が一体となり、子供のふるさとに対する意識を高める活動</p> <p>拡大学校運営協議会に児童生徒や保護者も参加し、テーマに沿って熟議をした。</p>	
<p>成果と課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育については「子育て応援ひろば」の中で、家族同士で褒めていることについて意見を出してもらった。保護者からは、叱る方が多く、褒めていることが思い浮かばないと、子供との関わり方を反省する意見が多かったが、児童生徒からは、褒められたことについて次々と意見が出ていた。お互いの思いを共有することで、さらに家庭教育について考えるきっかけになると期待できる。 ・拡大学校運営協議会では児童生徒も熟議に加わり、「地域の方々の思いを聴く」・「自分たちの考えを伝える」・「形にすること」を目標に開催した。まずは地域行事を周知する方法として児童生徒がポスターを作成。地域で協力してこれを掲示し、例年よりも児童生徒の参加が増えた。 	

課題

コロナ禍で学校や地域行事が縮小される中、児童生徒とともに行う活動は地域の活性化につながった。今後もこれらの取り組みを継続し、保護者の参加を増やしていくことが課題である。

主な活動内容

子育て応援ひろば

開催日時；令和3年12月22日、23日 保護者懇談会に合わせて開催

開催場所；厚陽小中学校 図書室

テーマ；家族同士で褒めている事

活動内容；雪だるまサンタを作りながら、テーマについて意見を交わし合った



〈子育て応援ひろばの様子〉



〈昼休みに児童生徒も参加〉



〈教職員の紹介ボード〉



〈地域の文化祭で紹介〉

今年度で2度目の開催となった本行事ですが、保護者同士の交流の場として定着しつつある。コロナ禍で先生との交流も減り、先生の顔が分からないとの要望から、先生手作りの〈教職員の紹介ボード〉も展示した。児童生徒も夢中になって作品を作り、とても喜んでいました。

拡大学校運営協議会

開催日時；令和3年11月26日（金）13：00～

参加者；小学5年生～中学3年生の児童生徒・希望する保護者・学校運営協議会委員・教職員

テーマ；①あいさつあふれる厚陽

②みんなが集う厚陽

③美しいわがまち厚陽



〈グループに分かれて熟議〉



〈児童生徒による熟議発表〉



〈児童作成のポスター〉



〈ポスターを掲示〉

厚陽を良くするにはどうしたら良いか。児童生徒から出た意見を基にテーマを絞り、6つのグループに分かれて熟議を行った。その後開催されたどんど焼きに向け多くのポスターが公民館に届き、地域の方の協力を得て校区内の至る所に掲示し、当日は大盛況のうちに終わった。

スクリーンの設置

コロナの影響は文化祭にも及び、今まではステージで歌ったり踊ったりできていたのが、事前に録画したものを流す形で発表。少しでも見やすくしたいと考え、スクリーンを設置した。



～昨年度の活動が評価され、厚陽小中学校PTAが、優良PTA文部科学大臣表彰を受けました～

評価された活動 厚陽小学校PTAと厚陽中学校PTAを一本化
山口県PTA研修大会を冊子形式で実施
厚陽PTA家庭教育支援チームを発足

〈表彰を受け、市長へ表敬訪問〉

